

感染根管におけるオゾン化酸素の殺菌効果(インビトロ研究)*

Richard Stoll, Michael Venne, Reinier Mutters, Vitus Stachniss
マールブルグ大学

本研究の目的は、排除するのが困難なヒトの歯の根管に存在する細菌、フェカリス菌に対するオゾンガスの殺菌効果を測定し(ヒールオゾンTM発生装置から40秒間3回)、従来の洗浄剤である滅菌生理食塩液(陰性対照群)、3%過酸化水素水、0.2%グルコン酸クロルヘキシジン溶液、1.5%次亜塩素酸ナトリウム溶液、および3%次亜塩素酸ナトリウム溶液(陽性対照群)と比較することであった。根管(各群10本ずつ)を消毒した後、量的調整法試験微生物に汚染させ、試験溶液で洗浄してから乾燥させた。食塩液で再度洗浄してからフェカリス菌の残留濃度を測定した。菌濃度は陽性対照群では他のどの群よりも有意に低く、一方、陰性対照群では他の群と比較して有意に高かった。試験群では菌の濃度は低かった。本文に報告した結果からオゾン化酸素は根管の殺菌に適していると考えられる。